

SSKP はばただより vol.135



ようこそ 秋まつりへ!



バルーンアートは大人気!
キッズコーナーではてづくりの遊びに
たくさん子どもたちがチャレンジ
してくれました



みんなで作った
ピエロの顔出しパネル!
赤いお鼻がチャーム。
力作です!!

はばただでは、10月28日(土)に恒例の秋まつりを開催しました。テーマの“サーカス”にちなんだ「はばただアート」で華やかになった会場に300人を超える皆様ご来場いただき、太鼓の演奏やバルーンアートの新しい企画も盛り上がりました。ご来場の皆様、ご協力いただいたほのぼのネット野崎西班、家族会の皆さんはじめ、たくさんのボランティアの皆様、ありがとうございました。



社会福祉法人おおぞら会

法人設立 20 周年の年を迎えて

社会福祉法人おおぞら会 理事長 西原雄次郎

1998年4月、それまで無認可通所施設であった「はばたけ共同作業所」が、新たに社会福祉法人おおぞら会の運営する「アクティビティセンターはばたけ」としての事業を開始しました。

無認可の事業所時代の職員の方々や、利用者の皆さんや、保護者の皆さんや、後援会の皆様方の目を見張るような努力のおかげで、必要な資金を集め、三鷹市の協力も得て、1997年11月に法人認可を得ることができ、皆で本当に喜び合ったのがついこの前のように思い出されます。

どのような建物を建てるか、夜な夜な集まって真剣に議論を重ねて造り上げた「はばたけ」の建物も20年を経過し、今年は大規模な修繕を行うこととなりました。この間、「つなぐ仲間の家」「さくらハイツ」「ショートステイさくら」「サポートネットあすは」「あすはキッズ」「工房 時」「野ざきの家」と、徐々にではありますが事業は拡大してまいりました。

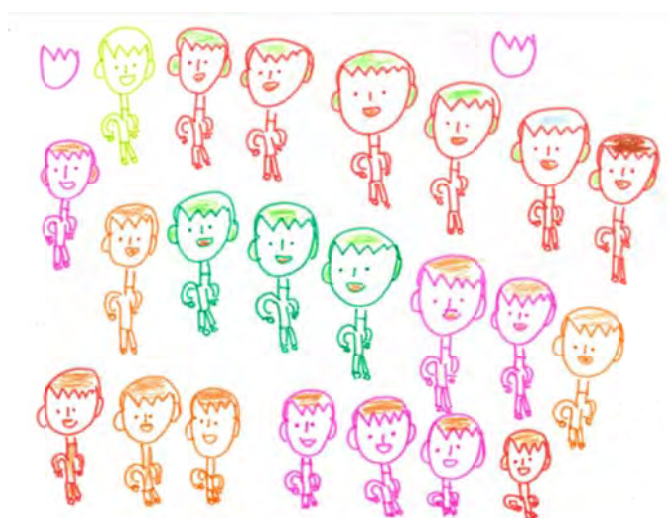
今年は、障がいの重い人達の利用を想定した新しいグループホームの開所に向けた取り組みもいよいよ具体的な作業が始まります。そして、20周年を記念する行事も予定しており、皆で20周年を祝い、これからの10年、20年をどの様に事業展開していくか、真剣な議論も重ねたいと思います。

これまで、順風満帆に時間を経過して来た分けではありません。山あり谷ありでした。私たちの力不足で、しっかり受け止めきれなかった人たちのことを思います。ご迷惑をおかけしてしまった人たちのことも忘れられません。

課題は山積しています。けれども、利用される皆さんの必要に応えることを常に第一にし、ご本人やご家族の笑顔が少しでも増えることを願い、働く皆さんも笑顔で前向きに働き続けられるように配慮し、地域の方々との良い関係の維持も常に意識し、そのための安定経営に努めねばなりません。簡単ではないことはよくよく分かっています。でも後へは引けません。皆々様のいっそうのお力添えを心から願うばかりです。

理事長という役割を、法人創立以来20年にわたって担わせていただきました。個人的には今年は年男であり、心身共に老いを実感する年齢にさしかかりつつあります。必要な役目を十分果たせるのか、心配でもあります。理事、監事、評議員の皆様、そして応援して下さる方々からのお支えをいただきながら、いつの日か次の方にバトンを渡せればと願っております。

皆々様、新しい節目の年、何とぞよろしくお願いいたします。共に力を合わせて頑張りましょう。



小規模多機能型居宅介護

野ざきの家



あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いします。

はばただよりは年3回の発行ですがあっという間に執筆依頼が来て「月日が経つのは早いなあ」と感じます。昨年は、野ざきの家として開設以来初めて定員を満たした期間もあり、忙しくも充実した1年となりました。その中で印象に残っている出来事を2つ紹介したいと思います。

まずひとつは、一年前の「はばただより」で利用者募集の記事を出した時のことです。「はばただよりを見たのですが」…とさっそく近隣の方から利用依頼があったのです。それからすぐにご相談を受けご利用が決まり一年が経ち、“あの記事あの一言から始まったのだな”としみじみ思い返す今日この頃です。まだまだ地域の皆様に知ってもらう努力が足りないなあと感じ、もっと気軽に相談できる野ざきの家になるよう、これを機に地域に向けた企画ができたらと考えています。昨年からの宿題として持ち越したので、今年はそれを練り上げていきたいと思っています。



地域の行事に参加…消火器体験

そしてもうひとつ…。野ざきの家始まって以来、初めて「お看取り」を支援させて頂いたことです。野ざきの家では看護職員は非常勤であり、基本的に常時医療行為のある方のご利用は難しいのが現状です。しかし、在宅生活を送っている中、他の医療系サービスと連携して支援することは可能です。訪問看護による健康チェック、リハビリはもちろん、外来受診が大変な方は訪問診療を受ける事が可能です。今回「お看取り」を支援した方の場合、ご本人、ご家族様とも積極的な治療は望まず、痛い思いをすることなく穏やかに最期を自宅で迎えたいというご希望でした。日に日に弱っていく姿を見るのは辛い事でした。職員の中でも「経験が無く不安」との声もありましたが、ご本人、ご家族様の精神的なフォローをし、職員一同で「我々に出来ること」を確認しながら支援しました。訪問診療の医師、訪問看護師と連携しながら色々なことを学ばせて頂き最期を自宅で迎えることが出来ました。

「我々は環境の一部」と研修で習った事があります。その方にとって心地よい「環境」となれるよう意識していなくてはと思います。お看取りをした後日、一緒に支援した訪問看護師さんに講師を依頼し、振り返りの会議をしました。

そこではご本人、ご家族の気持ちを考えたり、我々が支援したことを確認し、「お看取り」を考える機会となりました。その中で印象的だったのが「慌てない」「特別なことをしない」「普段通り」との事でした。分かっているにもかかわらず「お看取り」に限らず常に心を整えて、支援させていたでなくてはと改めて思いました。



紅葉の中をおさんぽ…

(管理者 齋藤貴彦)



～ 工房 時 ニュース ～ 【就労移行・就労継続B型】

～語り合い、触れ合った二日間～

新年明けましておめでとうございます。皆様のおかげで良い新年を迎えることができました。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて工房時では11月21日～22日、箱根旅行に行ってきました。飲んで食べて、温泉につかって、語らい合って…普段いっしょに仕事をしている仲間と寝食を共にし、さらに関係が深まった二日間でした。

一日目は昼食後に「かまぼこの里」で揚げかまぼこ作り体験をしました。インストラクターさんの説明を聞いて、さあ手作り開始、かまぼこのすり身に具を入れて練って形を整えて完成！それぞれ個性のある作品が出来上がりました。インストラクターさんに揚げてもらって、すぐに食べることが出来ました。出来立てのかまぼこは本当においしい！みんな残さず食べていました。午後は箱根園の水族館、アザラシやペンギンがかわいかったです。アザラシがごはんを食べているところを観ることが出来ました。その後フェリーに乗って芦ノ湖を渡り、箱根高原ホテルへ…湖上から観る夕焼けがきれいでした。



みんなでかまぼこづくり体験

夜の宴会は乾杯から始まり、美味しい料理に舌鼓を打ちました。気の置けない仲間と食べたり飲んだり、語り合ったり…楽しくリラックスした時間になりました。その後はカラオケ、今流行っている曲から、懐かしい曲まで様々な曲と歌声を聴いて、一人一人の過ごしてきた時代を感じることが出来ました。最後はAKBの恋するフォーチュンクッキーの大合唱で盛り上がりました。その後は温泉に入る人、部屋に戻って寝る人、飲みながら語り合う人…それぞれの夜が過ぎて行きました。



仕事を離れて…みんなリラックス！

二日目は富士サファリパークへ…バスの中からクマ、ライオン、トラ、サイ、チーター、シマウマ…特にキリンがバスの近くまで来たときは大迫力でした！食い入るように観ている人、写真を撮る人、平然とお菓子を食べている人…みんな様々な楽しみ方をしていました。

二日目の朝、所員のAさんと朝風呂に入りました。他のお客さんに「おはようございます」とあいさつをして、返事が返ってくると満足そうな表情をしていました。早起きをして、時間を気にせずお湯につかっているAさんの姿は、なんとも穏やかでのんびりした雰囲気が漂っていました。温泉につかりながら、ゆっくりとした時間を過ごす事が出来て、Aさんとの気持ちの距離が近づいたように感じました。

(管理者 立野信行)

アクティビティセンター はばたけ

【生活介護事業】

秋はさまざまな地域行事があり、施設として参加させていただく機会がたくさんありました。どんな方々が集い、どんなことをしているのか、参加することで地域が見えてきます。一員として地域づくりに参加して一緒に盛り上げていきたい…そんな気持ちで溶け込んでいきたいなと思っています。

地域総合防災訓練

11月6日(日)に行われた、三鷹西部地区の地域総合防災訓練に全員で参加してきました。煙ハウス、消火器など、消防署の方や地域の皆様のサポートを受けながらしっかり体験してきました。利用者にとっては理解の難しいことや恐る恐るの体験もありますが、みんなで経験したり毎年参加することで積み重なっているなと感じます。



煙ハウス…真っ暗で怖そうだな

三鷹市民駅伝大会

11月26日(日)に三鷹市民駅伝大会が行われ、抽選でみごと出場の『TEAM はばたけ』は、利用者4名で見事完走しました！この数年は工房時との合同チームで出場を果たしてきましたが、今年度から各施設でエントリー。今回ははばたけのみ抽選を通ったため、おおぞら会の代表としても期待を背負っての出場でした。みんなで練習を重ね、「僕がたすきを渡すのは〇〇さん！」と確認をして円陣を組み、チーム一丸となつての当日。みんなの気持ちもひとつになって、去年は途切れたたすきも、今年は見事最後までつなぐことができました。

沿道で応援してくださった市民の皆様の中には、ゼッケンを見て「はばたけがんばれ」と言って声援を送ってくれる方もおり、最終ランナーということでゴール前では市長をはじめ関係者の皆様や参加者の温かい拍手で出迎えていただき、選手みんな達成感を味わうことができました。みなさんありがとうございました！



ともだちとマラソンして
おしゃべりして
よかったです



つかれました。
来年もでたいです



駅伝たのしかった！



元気創造プラザで
ゴールしました！



サポートネットあすは

《移動支援・居宅介護事業》

あるヘルパーさんからメールをいただきました。「昨日の〇さん(グループホーム居住)とのガイドで、出がけに世話人さんから行程表が渡され引き継ぎがありました」と始まる文には、世話人さんから示されたことがこれまで築いてきたヘルパーとご本人とのやりとりと違ってしまい困惑したことが書かれており(詳細は控えます)、「利用者さんとタイムリーに目を合わせる時間を失うことは、私のガイドポリシーに反します。〇さんにちょっと待っていただく間に、彼の楽しい気分が冷めていく感じが分かるのです」そして「〇さんとの外出は楽しいのですが、次回以降、同じガイドは、お受けできません…」と締めくくられていました。

〇さんはご家庭で過ごされていたときからガイドを利用しており、グループホームに入居され、今度は世話人さんが諸々を引き継ぐ形となりました。グループホームは世話人が毎日変わりますので、そういった中では連携が大切になってきます。そんな連携のしくみをつくっていく中で、今回は私たちからヘルパーさんへの丁寧な説明を怠っていました。直ちにヘルパーさんにお目にかかって、あらためて経過をご説明させていただきました。事前に直接お話しできれば、このようなメールは無かったと思いますが、そこまで考えが及びませんでした。

考えてみると、最近、ヘルパーの方々と直接お話しする機会がめっきり減っています。電話は相手のお時間をいただくことになり、ちょっと躊躇することも正直あります。メールは、大変便利ですが、その時のお互いの空気感や顔の表情がつかめず、思わぬ誤解が生じることがあります。私自身、メール送信の後、自分のメールのそっけなさにヒヤッとしたことが有ります。反省しきりですが、スタッフ一同、楽しみにされている利用者や真摯に利用者に向き合って下さるヘルパーの皆さんに、これからもていねいにサポートをしていきたいと思います。(管理者 二口 緑)

あすは Kids

《放課後等デイサービス》

10月21日(土)に“第17回 武蔵野あったかまつり”が開催されました。市内の関係団体で話し合いながら作っていくお祭りで、あすは Kids は的あてゲームで参加しました。地域のイベントを盛り上げるために、みんなで少しずつ準備をしてきました。「新しいキャラを考えたら見て！」と嬉しそうに見せたり「学校描こう」「運動会！赤組優勝した！」と最近あったことを話しながら色を重ねていくなど、みんな集中して取り組んでいました。絵を描くことをきっかけに、その時考えていることや最近楽しかったことなど、言葉以上にその子の思いと一緒に感じられ、とても楽しい一場面でした。

当日はあいにくのお天気でしたが、たくさん子どもたちが「去年もやったんだよ」「仮面ライダーだ！あそこに入れよう！」と夢中になって遊んでくれました。

みんなで作ったものを通して、あすは Kids や子どもたちのことを地域の人に知ってもらえるよい機会になりました。

(支援員 梅田亜希)

完成した“的あてゲーム”ステキでしょ！



おおぞら会後援会ニュース

新年のご挨拶

新年、あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、後援会活動のご報告をさせていただきます。法人の各事業所・関係者の皆様のご尽力により、昨年もさまざまな活動を行うことができました。はばたけ秋まつりや社協福祉バザー、あすはミニバザー、工房時の感謝デー等でお手伝いをいただきながら地域交流を実践できたこと、それぞれの場面でおおぞら会の理念にもある「お互いさまの笑顔」が見えたように思います。ご協力誠にありがとうございました。

そして、今年おおぞら会は法人設立20周年を迎えます。記念事業の実行委員会に後援会からも参加しています。皆様、お一人お一人の力が集まれば、法人にとってとても大きな支えとなります。今後とも、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

社会福祉法人おおぞら会後援会
会長 吉野 壽夫



★後援会新規ご入会・ご更新（敬称略）

個人53名、法人1社より、ご入会・ご更新をいただきました。
ありがとうございました。

★後援会へ ご寄附（敬称略）

個人8名、団体1社よりご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

★法人・各事業所へ ご寄附（敬称略）

個人4名、法人1社よりご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

（8/29～11/30 集約分）
皆様 ありがとうございました。

皆様 ありがとうございました。後援会費、ご寄付は大切に活用させていただきます。

* 後援会へのご入会・ご更新をお願いいたします *

年会費 1口 個人…2000円 団体…10000円

年会費は、お手数ですが直接お持ちいただくか、下記の口座にお振込みください。

郵便口座 00160-0-39163 口座名義： 社会福祉法人おおぞら会後援会

information

工房時のギフト。



お菓子工房で手づくりしているクッキーは
ほっこりやさしい味・・・おみやげなどにどうぞ

ご注文は工房時まで

TEL 0422-30-5571

kouboutoki@oozora.or.jp



社会福祉法人おおぞら会

- | | | |
|------------------------------------|---------------|------------------|
| ・ アクトビティセンターはばたけ (生活介護事業) | 三鷹市野崎 3-17-9 | tel 0422-32-3234 |
| ・ 工房時 (就労移行事業・就労継続B型) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5571 |
| ・ 野さきの家 (小規模多機能型居宅介護事業) | 三鷹市野崎 2-6-41 | tel 0422-30-5575 |
| ・ サポートネットあすは (移動支援[居宅介護]事業) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ あすは Kids (放課後等デイサービス) | 武蔵野市八幡町 1-6-1 | tel 0422-36-5151 |
| ・ ショートステイさくら (短期入所事業) | 三鷹市井の頭 4-22-6 | tel 0422-32-3234 |
| ・ つながなかまの家 (共同生活介護) | | |

最寄りの駅で自転車置き場から出ようとしたとき…入れ違いに入ってきた親子の会話が聞こえた。駐輪スペースがいっぱいで置き場所を探している。障害者用のところは空いていたのだが「ここは障害者の方の場所だから」と子どもに説明するお母さん。「しょうがいて何?しょうがいて?」と子どもは初めて聞く言葉に興味津々でお母さんに何度も尋ね返していた。お母さんは「しょうがいて言うのは…」とちょっと詰まりながら言葉を探していた。私もお母さんの返答を聞いたかったが、人の波に押し出されそのまま自転車置き場を出た。「私ならどう答えるかな…」そんなことを考えながら家まで自転車を走らせた。…後日、近所の小学校から「まち探検」でやってきた子どもたちに同じような質問をたくさん受けた。自転車置き場のお母さんではないが、いざ説明するとなると一瞬考えてしまう。子どもたちには毎度鍛えられるが、世の中のすべてに関心をもって純粋に知りたいという気持ちで質問してくれる小さなこの子たちにこそ、利用者のこと、地域に在る施設のこと、そして私たちの仕事の魅力をしっかり伝えていきたいとあらためて思った。(いりくらあきこ)